

行政事業レビューシート (環境省)

事業名	小笠原諸島世界遺産センター整備費等	担当部局庁	自然環境局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度	担当課室	自然環境計画課	課長 塚本 瑞天			
会計区分	一般会計	施策名	5-2 自然環境の保全・再生				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約第4条	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	世界遺産の価値の保全の拠点としての「小笠原諸島世界遺産センター(仮称)」を整備するとともに、小笠原諸島世界遺産の総合的な保全管理体制を整え、新たな外来種による世界遺産の価値喪失の危機への対応をし、世界遺産委員会勧告事項に適切に対応等することによって、世界遺産条約第5条に定められた締約国の一義的な義務である遺産地域の保全を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	世界遺産の価値の保全の拠点としての「小笠原諸島世界遺産センター(仮称)」を整備する。 また、新たに外来種の侵入・拡散を防ぐ総合的な対策を実施するための全体構想案を作成するとともに、外来種の持ち込み防止対策の試験的な実施を行う。さらに、新たに発生したあるいは明らかとなった外来種による世界遺産の価値喪失の危機への対応を行う。世界遺産委員会勧告事項を踏まえ、小笠原周辺海域の自然環境の現況把握や気候変動適応戦略の策定を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	3,780
		補正予算	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	3,780
		執行額	-	-	-	-	
	執行率 (%)	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	遺産委員会勧告事項を踏まえた世界遺産の価値の保全	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	世界遺産の価値の保全の拠点である世界遺産センターの設置等	活動実績 (当初見込み)	件	-	-	-	-
単位当たりコスト	父島・母島センター 1242千円/m ² 林内陸産貝類飼育施設 320千円/m	算出根拠	父島 861,948千円÷694m ² = 1,242千円/m ² 母島 629,694千円÷507m ² = 1,242千円/m ² 陸産貝類 896,000千円÷2,800m = 320千円/m				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	世界遺産委員会の勧告を踏まえた小笠原諸島保全管理対策等			24年度新規事業			
	職員旅費	0	23				
	自然環境保全調査費	0	1,989				
	不動産購入費	0	202				
	小笠原諸島世界遺産センター整備費等						
	施設施行旅費	0	7				
	施設施行庁費	0	10				
	施設整備費	0	1,272				
	不動産購入費	0	277				
計	0	3,780					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>世界遺産の価値の保全対策について、地元の合意形成を図りつつ一層推進することによって、世界遺産としての地位を維持するとともに、世界遺産登録時の世界遺産委員会からの勧告を遵守し、条約に定められた締約国の義務を果たすために必要な経費である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>世界遺産登録時の世界遺産委員会からの勧告を遵守し、条約に定められた締約国の義務を果たすために必要であり、要求をすることを認めるが、要求が認められた際は、効率的な執行に努めること。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			